しばくいち 議会だより

No.80

編集／議会広報編集特別委員会

●今号の主な内容

12月定例会のあらまし…2～4
臨時議会／議会改革特別委員会…5
町の考えを問う
一般質問 8議員が登壇…6～13
先進地に学ぶ……14～16
クローズアップ 議員紹介……17
皆さんからのご意見／ふるさとへの便り46…18～19

撮影場所：橋場小学校

新春のごあいさつ

福幸元年となるように

雫石町議会 議長　猿子　恵久

平成24年の新春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、清々しい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年発生した東日本大震災は未曾有の被害をもたらしました。尊い命が失われ、今なお震災の影響に苦しんでいる人がいることを忘れてはなりませんが、2011年の世相を表す漢字が「絆」であったように、我々はその悲惨な状況の中からも「人のつながり」という大切なものを学び直すことができました。被害に遭われた方々、今なお震災の影響に苦しんでいる方々にとって、本年が復興＝福幸元年となるよう祈念してやみません。

また、当議会おいても震災の影響が残る中で議員選挙が行われ、議会も新しい体制でのスタートとなりました。選挙期間中に町民の皆様のご苦労や思いを肌に感じ、さまざまなご意見を頂戴した中で、議員一同、議会の変革の必要性を強く感じました。住民福祉の向上に努め、町民の皆様の負託に十分に応えられるよう、議会改革特別委員会を設置し、現在さまざまな項目について検討中です。議員一同襟を正し、町民の皆様に町政運営をより速やかにお伝えできるよう、町民目線の開かれた議会を目指してまいる所存であります。

結びに、町民の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、より一層のご指導、ご協力をお願い申し上げ、年頭に当たってのごあいさつとさせていただきます。

事務事業評価などにマネジメントサイクルの確実な運用と結果の実行を再三提言

平成23年度12月定例会は、12月６日から12月13日までの８日間の会期で行われました。

本定例会では、条例の一部改正案件が１件、字の区域の変更案件が１件、補正予算案件が９件、請負工事の締結案件が１件、財産の取得案件が１件、和解及び損害賠償案件が１件、これらの計14件の案件は全て原案通り可決・同意しました。

一般質問は、８名が登壇し、町当局の考えをただしました。

これらの中で当局に対して、財政逼迫（ひっぱく）の中もっと厳正なる予算の組み立てや事務事業評価などにマネジメントサイクル※の確実な運用と結果の実行を再三要請、また何年たっても進まぬ、事業の当初計画との大きな乖離（かい り）に対する経営改善や、施設運営管理に係る長期的展望の欠如など、多くの厳しい指摘・提案がなされました。

※マネジメントサイクル…計画(P)、実施(D)、評価(C)、改善(A)のプロセスの繰り返しによって、品質の維持・向上を継続的に行う業務手法。

雫石町税条例の一部改正について

公益を目的とする事業を行う法人、社会福祉の増進を図る活動を行っている法人等に対する一定の寄付金について、その事業または活動の意義にかんがみ、町民税の税額控除対象に追加するための改正。

林道災害復旧事業　林道志戸前川線２号地復旧工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて

1. 工事名　林道災害復旧事業
　林道志戸前川線２号地復旧工事
2. 工事場所　御明神　地内
3. 契約金額　１億1,098万９千２百円
4. 請負者　雫石町下曽根田69番地
　株式会社　中村建設

問　**なぜ作業条件の悪い冬場に実施するのか。**

答　流水量の少ない時期にしか工事ができない。また、災害査定が10月にあり工程上も今の時期になった。

財産の取得に関し議決を求めることについて

しずくいしアグリリサイクルセンターコンテナ運搬トラック（アームロール架装、低床型４WD車）を経年劣化のため買い換える。購入金額1,050万円。

問　**常識的に1,050万円は高いと見るのが普通である。１千万円もの買い物をするのだから、他の案件のように車が特殊仕様である旨を仕様書や図面をもって説明すべきである。**

答　今後は分かる資料を添付し説明するよう気をつける。

問　**アグリリサイクルセンターのスタート前の収支バランス計画と現実には大きな乖離がある。何年経っても同じ回答で改善されない。事業評価を行い、マネジメントサイクルを確実に運用して結果を実行すべきである。**

答　10月以降農協の担当者と資料の細部分析や先進地研修等経営改善に向け努力中である。

問　**設備の修繕・更新計画などの長期計画も提示されたい。**

答　精査して議会に提示する。

設備の老朽化が進むアグリリサイクルセンター

一般会計補正予算（主なもの）

一般会計補正予算（第５号）

補正前の額	補正額	計
83億9,562万３千円	２億592万９千円	86億155万２千円

▶林道施設災害復旧工事　7,080万２千円
▶財政調整基金積立金　5,224万５千円
▶障害者自立支援給付費　3,810万２千円
▶保育園入所児童運営費委託料　2,867万１千円
▶全日本学生スキー選手権大会開催負担金　1,550万０千円

主な質疑

問　**全日本学生スキー選手権大会は今後も継続開催できるのか。**

答　町長の強い働きかけにより、継続開催の権利を得ているので期待できる。

問　**９月以降用水路の水が止められており多くの苦情がある。通年水利権の取得までの日数はどのくらいか。**

答　11月１日から町管理の河川の取水は始まっている。国、県管理の分は止まったままである。水利権取得には一般に３～５年だができるだけ短縮するよう働きかけている。

問　**11月の災害復旧工事の入札で８件が不落になっている。原因と対策は。**

答　工事業者が工事の多さに対応できないとか技術者等の不足もある。Ｄ級業者対象工事でもＣ級も含めるなど入札業者の範囲を広げたい。

特別会計補正予算（主なもの）

○下水道事業特別会計補正予算（第２号）

補正前の額	補正額	計
９億9,983万２千円	△9,687万０千円	９億296万2千円

▶汚水管布設等工事　△8,431万０千円

○介護保険事業勘定特別会計補正予算（第２号）

補正前の額	補正額	計
13億7,617万２千円	2,781万２千円	14億 398万４千円

▶介護予防サービス給付費負担金　1,056万６千円

○雫石診療所特別会計補正予算（第1号）

補正前の額	補正額	計
４億6,468万６千円	△1,087万１千円	４億5,381万５千円

▶人事異動　△1,087万１千円

字の区域の変更について

国有林野の所管換えに伴い、本町内の字の区域の変更

1.雫石町長山有根に編入する区域

雫石町長山有根28、長山岩手山７に隣接する国有地の一部

2.雫石町橋場龍川山に編入する区域

雫石町橋場龍川山１の地先の国有地の一部

和解及び損害賠償の額を定めることに関し議決を求めることについて

平成22年６月21日雫石町御明神堂前地内において、公用車が林道を走行中、カーブに差し掛かった際に、対向車に気付かずに出会い頭に衝突した交通事故に伴う損害賠償に関し、和解し、損害賠償の額を決定。（損害賠償額127万898円）

平成23年12月定例会　採決結果一覧

議案等番号	議案名＼議員名	田屋舘愛子	幅　秀哉	岩持　清美	山崎留美子	加藤　眞純	杉澤　敏明	川口　一男	前田　隆雄	西田　征洋	谷地　善和	村田　厚生	田中　栄一	大村　昭東	上野三四二	坂下　栄一	坊屋鋪俊一	平子　忠雄	煙山惣右衛門	石亀　貢	採決結果
議案第１号	雫石町税条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第２号	平成23年度雫石町一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第３号	平成23年度雫石町下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第４号	平成23年度雫石町農業集落排水事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第５号	平成23年度雫石町簡易水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第６号	平成23年度雫石町介護保険事業勘定特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第７号	平成23年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第８号	平成23年度雫石町立雫石診療所特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第９号	平成23年度雫石町後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第10号	平成23年度雫石町水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第11号	字の区域の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第12号	林道災害復旧事業　林道志戸前川線２号地復旧工事の請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第13号	財産の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第14号	和解及び損害賠償の額を定めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○･･･賛成、●…反対　※猿子議長は採決には加わりません。

臨時会

平成23年第８回臨時会が11月28日に開催され、人事院勧告に準拠し、職員の給料月額等の改正を図るための条例改正について審議・可決されました。

□条例の一部改正

○一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について

人事院勧告に準拠し、中高齢者（40歳台以上）に限定し、給料月額を引き下げることなど（平成23年12月１日施行）。

□主な質疑

問 **「人事院勧告に準拠し」となっているが、勧告どおりではないのか。**

答 勧告では、４月から11月の減額分をボーナスで調整することになっていたが、当町では今年度に限り、このような調整は実施しないこととした。

問 **民間だと実績（能力）査定によって、給与に差がつくような給与体系になっているが、当町ではどうなっているか。**

能力給を取り入れることで士気が向上すると思うので、取り入れるべきだ。

答 人事考課というものを現在、試行中である。今後、もう少し踏み込んだ能力、職務に対する考課等を踏まえた給料決定等をしていければいいと思っている。

平成23年第８回臨時会　採決結果一覧

議案番号等 ＼ 議員名 ／ 議案名	田屋舘愛子	幅　秀哉	岩持　清美	山崎留美子	加藤　眞純	杉澤　敏明	川口　一男	前田　隆雄	西田　征洋	谷地　善和	村田　厚生	田中　栄一	大村　昭東	上野三四二	坂下　栄一	坊屋鋪俊一	平子　忠雄	煙山惣右衛門	石亀　貢	採決結果
議案第１号　一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○･･･賛成、●…反対　※猿子議長は採決には加わりません。

議会改革特別委員会 その２

平成23年10月14日に第１回雫石町議会改革特別委員会を開催し、３つの小委員会の構成と各小委員会ごとの調査事項を決定し、本格的に検討を開始しました。

12月６日には、第２回特別委員会（全体会）を開催し、各小委員会における検討状況の報告と第３小委員会から検討を終了した調査事項についての協議がなされました。

協議事項は、「議会広報での議案に対する議員の賛否公表について」でした。

第３小委員会からは、下記の理由・改革後の効果から実施すべきであると報告がされ、全体会で了承されました。

〔議案に対する各議員の賛否結果を公表する理由等〕

・町民は、各議案等に対する表決結果だけでなく、各議員のそれぞれの議案等に対する賛否の状況についても知りたいと思っている。したがって、これに応えていくことが必要である。
・これを公表することにより、議会の情報公開、透明性の確保がより一層高まる。
・上記の情報を提供することにより、議員の活動に対する町民の評価が的確になされる。

また、委員長報告において、少数意見があった場合は、委員長報告の中に必ず入れることとし、報告された少数意見は、議会広報に掲載することも了承されました。

これらについては、12月定例会の広報から実施することになりました。なお、議会広報は町のホームページでも見ることができます。

早速、議会改革先進地の紫波町を視察

一般質問

質問者／
やまざきるみこ
山崎留美子 議員

チョット ひとりごと
行政用語は
分りにく――いと
町民は言っているよ。

低周波音被害者への対応を示せ

町長／測定終了後、解決に向け努力

山崎議員　川井林業の早朝から夜間の操業に伴い、騒音および低周波音で悩んでいる近隣地の住民の方がいる。最近は、睡眠障害等の症状まで出ているつらさを抱えている。低周波音被害は発生するまで極めて長時間、長期間での低周波音環境に生活していることが必要だが、いったん過敏化すると軽減策がますます困難になっていくことも指摘されている。

町が９月27日から７日間、214万円の公費をかけ、専門業者による測定をした。住民の１日も早い、健康被害と生活環境回復策をどう求めていく考えか。

町長　平成20年５月に極楽野地域住民から騒音被害の苦情を寄せられてから、これまで14回にわたり川井林業と保全の会、町で県と連携し騒音測定や工場見学を含め協議をしてきた。

保全の会は騒音の高い時間帯があると指摘しているが、川井林業は遮音壁の設置など対策をとり、「音」は付近住民宅で確認したことがないと平行線のまま、平成23年１月25日以降、第３者会議が開催できていない。その後川井林業と保全の会から連続騒音等測定の要望があり、現在調査中である。

山崎議員　私が騒音の実情について日中と夜間に現場に出かけ、音の体感をしたり保全の会から各々の実情や意見も伺った。解決に至らない最大の障壁は、異口同音「役場の姿勢がよく見えない」ということだった。

職員が動いてくれてもそれが空回りになっていれば住民には伝わらない。住民の気持ちや被害を感じている方の心にどれだけ寄り添って対処していたのか。立地協定および土地賃貸借契約書があり、過去に違反した事実があると書かれていながら、なぜ文書による行政指導を行わなかったのか。

総務課長　違反したのではないかというような協議等をした経緯はある。工場へ通知を出したが、抗弁書を出され、その後図面等提出があったと捉えている。

山崎議員　食い違いがあるのでは。平成21年11月に企業立地協定について、町から遵守するよう通知が出され、川井林業側は口頭で説明したので了承されたと思っていたと。そういう意見が終始貫かれているが、３者協議が開催できないでいるすべての原因は文書での記録がなかったからではないか。

町長　解決に向けて努力したい。住民の方に苦痛を与えていることはお詫びしたい。

■他にこんな質問もしました
・町事業の見直し
・仕分作業による行政改革について

過去5年間の観光客の入込数は

町長／日帰り客は20％減、宿泊客は26％減

質問者／幅（はば） 秀哉（ひでや） 議員

知らない特産品がいっぱいある。もっとPRした方がいいよね。

チョット ひとりごと

幅議員　過去５年間の観光客の入込数はどのようになっているか。また、観光客の入込数は集客による物品販売や、雇用の場の確保など産業としても重要と思うが、減少に歯止めを掛ける農工商観の連帯の取り組みはあるか。

町長　日帰り客は20％減、宿泊客は26％減で全体的に歯止めがきかない状況である。打開策として、東京でのイベント参加や世界遺産・平泉からの周遊・宿泊するよう集客事業に取り組む。平成24年４月から６月までの、いわてデスティネーションキャンペーンを活用し町独自の魅力的なツアー商品の開発を観光協会と連携して取り組む。観光産業と農業等との連帯の仕組み作りを進める。

特産品の取り組みについて

幅議員　農工商の連携で取り組んだ特産品はどの程度あり、販売状況や評判はどうか。

町長　農業関係として、そば・南部小麦大豆などの加工品、リンゴ・トマトのミックスジュース、自家生産牛乳のジェラートアイス、菜種油の生産、亀甲織の支援、商工関係としては、あねっこアイス、ラムネっ娘、野菊ソフト、新山の秘水、紫黒米コーヒーなどの新商品開発に取り組んでいる。地鶏の鶏っとこラーメンやキイチゴの菓子製造、米粉と黒千石大豆使用のゆべし・せんべいの商品化、米粉パンと南部かしわのウインナーのホッとしずくいしドッグは提供中であり、ワサビドレッシングや豆ドレッシングなども取り組み中である。好評を得て販売中の物もあれば、商品化に至らないものもある。６次産業化への支援を続け、商品価値の高い特産品創出に取り組んで行く。

「しずくいしいいモノカタログ」（別冊いわてやまより）

第５期介護保険事業計画について

幅議員　来年度の改正があるが、計画の見直しや変更等影響が出そうなものはあるか。

町長　介護保険事業計画は町村が定めることとなっているが、要介護、要支援認定者数の推移を考慮し年度毎に介護保険サービスの種類ごとの量の見込み、見込み量の確保のための方策を定める。来年度の改正で廃止される介護保険サービスはない。第４期の実績を踏まえ今後３年間の見込み量を把握し、第５期計画に盛り込んでいく。

■他にこんな質問もしました
- 全日本学生スキー大会開催時に積極的観光 PR をしないのか。
- 特産品開発は商品ストーリーを持って行っているか。

質問者／
岩持清美（いわもちきよみ） 議員

チョット ひとりごと
小規模校ほど、地域との連携、郷土芸能活動は大変すばらしい。大切にしたいよね。

新自治区設立への展望は

町長／プロジェクトチームを立ち上げる

岩持議員　３月定例会の施政方針演述、町長選挙のマニフェストで、小学校学区を単位とした新自治区設立を目指し、検討をすすめ「住民主権のまちづくり、新しい雫石を築きたい」と述べているが、どのような方向で、何をするのか、どの程度進展しているのか。

町長　内部検討をすすめ、大まかなスケジュールを作成しており、平成24年度に、職員によるプロジェクトチームを立ち上げ、アンケートや対面調査を行い、住民の意識・実情を調査し、あり方の検討や制度設計に着手したい。

町民提案実現は13%

岩持議員　町民は、自分たちの意見が町政に反映されにくいと考えている方が多いが、現在行っている町政懇談会、モニター制度、住民意見箱等だけで十分なのか。改善について検討されているか。

町長　住民主権のまちづくりを進めるため、行政情報を分かりやすく正確に提供し、住民のまちづくりへの参加意欲を高め、積極的な参画による住民主役のまちづくりが実現できるように取り組む。

住民の意見や提案等については、各分野の所管課において、審議会や座談会、説明会等、必要に応じ住民アンケート調査等も行っている。引き続き広聴事業の充実に取り組む。

小学校学区の再編は

岩持議員　小学校学区単位の自治区設立に向け検討中とのことだが、当町は小規模小学校も多く、その学区再編は新自治区設立の運命をも左右するものである。学区再編、統合計画の見通しについて伺う。

教育委員長　平成18年度に実施した住民アンケートにおいて、「小学校統合の実施」については賛成反対、半々だった。将来的にも学校の小規模化が避けられない状況の中で、児童のより良い教育環境を第一に考えて、「学習面」「生活面」「学校運営の面」の３つの観点から、地域の特性や実情を踏まえ、長期的な展望かつ多角的な視野で、今まで以上のスピード感をもって、適正規模、適正配置の具体的方策、選択肢をまとめたい。

■他にこんな質問もしました
・竜川河川改修、昇瀬橋改修について

狭い昇瀬橋の現況

小学校適正配置検討委員会の設置を

教育委員長／2012年度に設置

チョットひとりごと
小学校適正配置のアンケートや検討ばかりしているうちに入学した児童は中学生になるぞ

質問者／加藤眞純（かとうますみ）議員

加藤議員　大人の思わくは後にして、まずは「明日を担う子供たちのためを考えること」が最優先課題ではないのか。児童数10数人の学校では、社会の中で生きていける知識、学力、そして社会力を身につけた明日を担う子供たちを育てるために、よい教育環境と言えるか。「小学校適正配置検討委員会」を設置し、ここ１、２年で適正配置を実施すべきでは。

教育委員長　現在、小学校は10校あり児童数893人、2017年度は708人の見込みであり、小学校の適正配置は喫緊（きっきん）の課題と認識している。

2012年度には提案の検討委員会を設置し、小学校適正配置検討に着手する。

診療所の経営改革を英断せよ／人件費の削減、医薬分業を実施の方向

加藤議員　人件費比率は50%が採算ライン、70% 以上を占める経営状態では、小手先の改善などでは黒字化は望めず、一般会計からの繰り入れ１億数千万円は、永久に解消されることは無いのでは。今後の見込みは。

町長　一般会計からの繰入金は、2007年度１億4100万円、08年度１億5800万円、09年度１億4500万円、10年度１億2000万円で推移。2011年度は１億1000万円を見込む。基本構想と相当の乖離（かいり）があり、一層経営改善に努める。

加藤議員　同程度の規模の民間病院と比べ、人員構成、報酬の比較は。

町長　民間の医師１人の平均は1673万９千円、雫石は2102万８千円、医業収益に占める人件費の割合を示す人件費比率は類似の民間平均54%、雫石76.4%。人員構成については比較できない。

加藤議員　現状では、一体誰が経営管理をし、赤字解消の陣頭指揮をとり、長期的な展望に立った診療所経営計画をしているのか分からない。公設民営化、指定管理者制度を導入してはどうか。

町長　地域医療を守る観点から慎重に検討したい。なお、新年度に向けて、人員配置による人件費の削減、また、年度内に医薬分業に向けた方針を出し、さまざまな方面と調整を行いながら院外処方に移行したいと考えている。

診療所は一層の経営改善を

■他にこんな質問もしました
・診療所経営改革委員会を設置せよ

質問者／
上野三四二（うわのみよじ） 議員

救援物資の一部焼却処分なぜ

町長／賞味期限切れなど不良品を県が処分

上野議員　大震災支援の救済物資の一部が被災地に回らず県で焼却処分したと報道されたが、町民の善意が本当に届いたか。

町長　町民延べ723人から生活用品類を頂いた。大槌町、山田町、岩泉町、宮古市にお届けしたほか、町内に避難された方々にも支援できた。義援金は11月末現在79件、430万9096円寄せられ、県の配分委員会において配分決定し交付された。

また、がれき処分支援など10回、250人がボランティア参加し、町職員も町内避難者支援、被災市町村の長短期支援を行い、現在も派遣している。支援に対する感謝の言葉を頂いている。県が集めた物資の一部が焼却されたことについては、はっきりわからないが賞味期限切れや不良品があったと聞いている。

体育協会の県営温水プールの指定管理はどうなる

上野議員　県が指定管理者制度をとってからは、町指導のもと体育協会が運営管理に当たっていた。しかし次期指定管理審査において、指定管理者から僅差で外れたと聞くが何が不足だったのか。町の指導責任はないのか。

町長　次年度からの指定管理者から外れたのは結果として残念だ。体育協会の会長や理事会、評議会の運営責任というのは当然ある。審査から外された失敗を繰り返さないよう町も協力していきたい。

町史の編さん・改訂など本町の教育、文化活動について

上野議員　町史編さん・改訂、補てんの作業状況、学校副読本の発刊取り組みはどうなっているか。「雫石よしゃれ」の県無形民俗文化財の指定申請の回答はまだか。また、町の国際交流事業や取り組みは高く評価されているが、より友好発展させるため記念事業なども含め、どう進めていくか。

教育委員長　町史は、江戸時代以前の歴史など追加整理する必要があり、来年度発刊を目指して内容確認している。副読本は全面改訂し、来年度から授業などに活用したい。県無形民俗文化財は、雫石よしゃれのほか、西根念仏剣舞、葛根田田植踊り、山神神楽、安庭あやつり人形などの調査もお願いしている。

交流事業は、中学校では、ランドルフ市（アメリカ）へ海外派遣、町国際交流協会がバートヴィンプフェン市（ドイツ）との交流活動を毎年実施し成果を上げており、今後も継続していく。

社会教育課長　交流を深める意味でも、ドイツとの交流記念植樹を実施したい。

日本文化に触れる参加者

矢櫃地域への水道整備を

町長／需要把握し今後検討していく

質問者／
杉澤敏明（すぎさわとしあき）議員

チョット ひとりごと
大震災でも町水道は
止まることがなく、
なんとか生活できた。
水道の未給水区域は
早期に解消すべきだ。

杉澤議員　水道未給水区域として残っている矢櫃地域への水道整備が早期に必要である。隣接する九十九沢地域までの第５次鴬宿簡易水道拡張事業は平成23年度をもって終了となるので、第６次拡張事業として引き続き取り組んでもらいたいがどうか。

町長　矢櫃地域は、戸数が21戸で家屋が点在しており、地形の状況からも整備条件が厳しいと思われることから、現段階では拡張事業として計画することは難しいと考えている。しかし、飲料水は必要不可欠であることから、地域の方々との密接な相談や水道利用の意向調査を実施し、需要を把握した上で今後検討していきたい。

杉澤議員　現段階では難しいと認識したのはなぜか。

町長　総合的に検討した上で、綿密な体制を整えてやることが一番大事だと思っている。

下水道事業・鴬宿幹線の進捗（ちょく）状況は

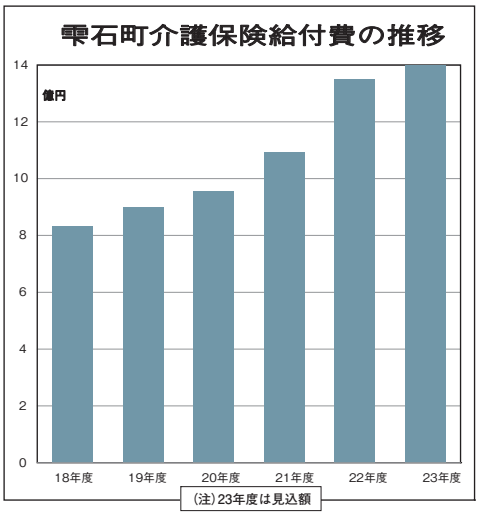
杉澤議員　北上川上流流域下水道事業・鴬宿幹線の整備計画に対する現在の進捗状況はどうなっているのか。また、町がこの幹線整備に連動して整備する予定の各処理分区の進捗状況はどうなっているのか。今後の見通しも併せて伺いたい。

町長　鴬宿幹線は、主要地方道盛岡横手線桝沢橋までの全体計画延長7.7キロメートルのうち、今年度中に4.4キロメートル完成する予定となっている。平成25年度には天戸東地区、平成26年度末には天戸西地区まで延伸する県の計画となっている。町整備分進捗状況の町場処理分区は、本年４月から共用開始となり、天戸東処理分区は平成24年度に工事完了し、平成25年度供用開始予定となっている。天戸西処理分区は、平成24年度から一部工事着手予定となっており、町整備分においても県事業の整備状況と整合を図り、面的整備を推進していきたい。

第５期介護保険事業計画の保険料は

杉澤議員　第５期介護保険事業計画（平成24～26年度）における介護保険料は、いくらぐらいになる見込みか。

町長　介護給付費が年々増加する見通しであり、介護保険料は大きく上昇することが見込まれる。



■他にこんな質問もしました
・今後の産業振興策について

一般質問

質問者／
おおむらしょうとう
大村 昭東 議員

町長の選挙公約の実現を
町民は待ち望んでいる。
きっちりと説明責任を果たすべきだ。
農業指導センターを発足時のように、
なぜ改革改善しないのか。
チョット ひとりごと

まちづくりの永続的理念に産業を入れない理由は

町長／目標に向かって努力する

大村議員　まちづくりの永続的理念にどうして産業を入れないのか。

町長　目標に向かって懸命に努力する。

大村議員　雫石ローカルマニフェスト2010などで、町民と約束した公約を総合計画の実施計画にどのように組み込んで、新しい雫石を始動しているか。

町長　町長就任直後、町民に宣言約束した政策について、内容を分類・整理し前期基本計画に盛り込み、重点事業を実施計画の中に明確にした。

大村議員　自治体をめぐる不祥事は後を絶たないが、関係法令等を厳格に遵守することをはじめ、社会的規範を全うするため組織体制をどう整えているか。

町長　町職員の懲戒等に関する基準内規などを定め、コンプライアンスの徹底を図っており、今後も厳しく職員研修に取り組む。

大村議員　農業・農村地域の振興について、今までの町農政をどのように総括、検証、評価し、実現力や行動力の機能強化を図って行動しているか。

町長　農業指導センターや関係機関団体の持つ強みを有機的に結び付け、持続的な発展と魅力的な農林業を展開する。

大村議員　実施計画に騒音、低周波音等の苦情に迅速に対応するとあるが。

町長　１月中旬に科学的データが出るため、４者協議等を行って対策を講ずる。

大村議員　マニフェストに無駄遣いを徹底的になくすとあるが、農業指導センターに係る無駄をどう改革改善するのか。

経営推進課長　農林業の活性化計画等も作りながら、それぞれの状況等を随時検証しながら取り組まれると思っている。

大村議員　農業指導センターに６次産業の県内トップレベルの人材を委嘱しながら、研究機材をただでくれてやるというのはどういうことか。コンプライアンス違反ではないか。

農林課長　当時のことは詳細にわかりかねる。

大村議員　農業指導センターを平成24年度はどうする考えか。

農林課長　さまざまな加工分野の６次産業化に向けて取り組んでいく。

大村議員　健康センターの経営対策という新聞報道に診療所の民営化が含まれていたか。

町長　当然その時点で状況が極めて厳しければ、民営化も考えなければとの気持ちだった。

大村議員　新聞報道された職員の不祥事はなぜ未然に防止できなかったか。

学校教育課長　このような不祥事を起こした事を深くお詫び申し上げる。

大村議員　この職員の不祥事の監督責任、指導責任、組織責任について、きっちりと「けじめ」をつけたか。

副町長　今回の職員については、懲戒免職の厳しい処分を行い、元および現在の上司に訓告処分を行った。

TPP※参加で雫石町民への影響は

町長／農業はもとより住民生活も深刻な打撃に

質問者／西田征洋（にしだまさひろ）議員

チョット ひとりごと

国の言うがままの負担増を国民に押し付ける動きに対し、制度の抜本改善を地方自治体として国へ要求していくことが今こそ必要だ。

西田議員　野田首相はTPP参加に道を開いた。町の農業への悪影響はどのようなものとみるか。また農業以外でも町民生活がどうなると予測されるか。

町長　県の試算を町の平成22年度の農産物販売促進実績に当てはめると、減少額は総体で約60％に当たる19億２百万円に及ぶ。さらに農業関連産業、自然環境などへの深刻な打撃を与えるとともに、町民生活にも食の安全や混合診療の導入での医療格差等、身近な住民生活全般にも支障を及ぼす可能性があるものと考えられる。政府の情報提供や説明は不十分であり、TPPへの参加に反対している。

西田議員　今でさえ農産物の販売高は５年前の66.6％にしかなっていないが、TPPで県の指標どおりに減少すると５年前、平成17年度の４分の１にもならない額になる。これを機会に雫石農業を応援する具体的な方策を皆で考えなおしていく時だと思う。

介護保険は負担増めじろ押し

西田議員　介護保険は、伊藤哲夫前議員の議会での要求と、それに町が対応した基金の取り崩しで、県内で最低の保険料となったが、今回の見直しから加入者、利用者の負担増が見込まれる。利用抑制で重度化が進めば結局、給付増、負担増の悪循環となり、制度の根幹にかかわる大改悪だと思うが。

町長　介護保険制度は要介護者を社会全体で支えていこうとするもので、町民が理解できるように整えていきたい。

TPPへの参加はさまざまな影響が懸念されている

※TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）・・・加盟国間で貿易自由化を目指す経済的枠組み。工業製品や農産品、金融サービスなどをはじめとする、加盟国間で取り引きされる全品目について関税を原則的に100％撤廃しようとするもの。原則として例外を認めない貿易自由化の協定である。

先進地に学ぶ
～行政視察リポート～

総務常任委員会

10月26日から28日まで、次のとおり所管に関わる調査を行いました。

（１）移住定住促進に向けて（北海道厚真町）
（２）財政再生計画の取り組み（北海道夕張市）
（３）議会改革と議会基本条例（北海道栗山町）

空き家リフォーム最大100万円補助

厚真町では、人口増加を図るため、移住や定住など多様なニーズに対応する事業を展開していました。例を挙げると、

・空き家再生促進事業
・マイホーム建築助成事業
・空き家リフォーム補助金事業（最大100万円）
・定住化促進長期貸付制度（無利息ローン）
・フォーラムビレッジの分譲（マイホーム建築最大100万円補助）
・ソフト事業、大都市圏での移住PRなど

また、町民が安心して健康に暮らせるよう、充実した施設や支援体制が整っています。このように思い切った施策ができるのも石油備蓄基地、火力発電所があり、財政的に豊かであるためです。

人口は１/10に減少

全国初の財政破たんの夕張市は、炭鉱の閉山の影響により、ピーク時に10万７千人あった人口が１万１千人を切っています。

夕張市は、北炭夕張炭鉱の倒産に伴い、閉山処理として586億円（起債330億円）を対策費として費やし、石炭から観光への転換のため46億円の投資を行い、さらに多額の赤字が累積されています。18年度末で353億円の赤字であり、３年間で31億円の赤字解消も、平成20年度末322億円の残高であり再建計画を推進中です。

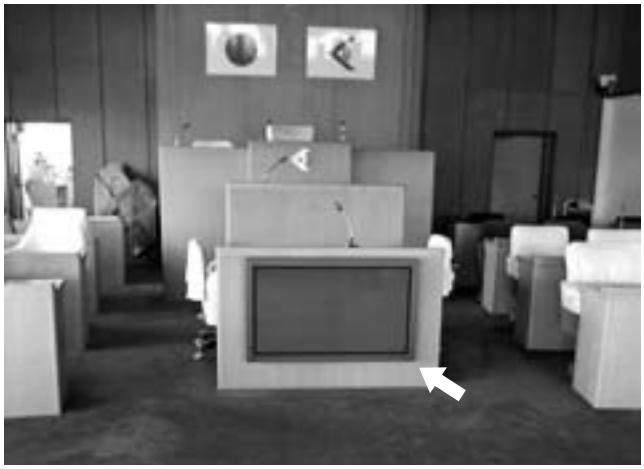
コンパクトなまちづくり、学校の再編、資産の売却、企業や国・県の出先機関誘致などを進めているとのことで、一般職員給与は、18年度比30％減の全国最下位であり、市民生活に必要な最小限の事業以外原則廃止、税率の見直しなどを行い、全国から支援をいただいている現状でした。

平成25年度から毎年26億円の借金返済が始まるとのことで、先はまだまだ見えてこないようでした。

議会改革への先駆者

栗山町は、議会改革において全国の先駆者であり、全国の市町村の目標とされている町です。議会改革の背景と議会基本条例の特徴について説明を受け、透明性の確保、住民参加によるまちづくり、議会のあり方、議会主催による一般会議の設置、各議員の賛否公表、年１回の議会報告会、議員相互間の自由討議、議会モニター・サポーターの導入、正副議長志願者の所信表明が主なものでした。これらは、議会基本条例制定前に７割方出来上がっており、これを土台に議会基本条例制定へと進んだとのことでした。また、インターネットによる議会のライブ中継が行われていました。

なお、当議会でも議会改革特別委員会を立ち上げ、さまざまな項目を検討中です。



議場の中継が映し出されるモニターが設置された演台

氷見市民病院

教育民生常任委員会

11月９日から11日まで、次のとおり所管に関わる調査を行いました。

（１）市民病院の公設民営化について（富山県氷見市）
（２）学校の適正配置について（石川県能登町）

氷見市　市民病院の公設民営化について

公設民営化への背景

1. 昭和23年の病院開設であるが、昭和58年の増改築を経て平成４年の管理者制度導入し現在に至るが、施設は老朽化が進んでいる。
2. 経営実態は地方交付税と一般会計からの繰り出しにて推移し、累積債務も拡大の一途である。
3. 公設公営を継続の場合、平成20年以降年間10億円程度の一般会計からの赤字補填が必要となる。
4. 医師、看護婦の不足が生じている。

※現況のまま運営を続けると数年で巨額の不良債務が累積し、市民病院の存続が不可能となり、市の財政の逼迫、さらには市民の医療の場がなくなり、職員の雇用の場もなくなる。

公設民営化へ動き

1. 平成19年４月５日に氷見市民病院経営改革委員会を開催。
2. 平成20年４月１日に金沢医科大学氷見市民病院開院。
3. 平成23年９月１日新病院開院。

※１　１年で新病院建設予定地の決定、指定管理者の決定等諸問題を解決・対処をする。

※２　わずか１年で公設民営化ができた背景には、金沢医科大学の思いと一致する部分が多く実現可能となったが、何より市長の公設民営化にかける情熱・意志が強固であり強いリーダーシップを持って進んだことに尽きるのではないか。

※３　おおよそ80日にも及ぶ会議・議会・説明会・タウンミーティング・調停などを精力的にこなした市長の並々ならぬ決意が見て取れる。

平成23年９月１日　新病院開院　建設事業費　52億円　地下1階地上６階　26科　250床
医師数46名　看護師210名

能登町　学校の適正配置について

適正配置への背景

1. 平成17年３月に２町１村が合併し、６小学校５中学校があるが、国の示す適正規模校は該当校無しの現状
2. 学校は地域のシンボル、コミュニティの拠点でもあるが教育力を生かす教育の環境を整える必要がある。

適正配置への動き

・平成21年７月に町教育委員会から町立小・中学校教育環境づくり検討委員会へ諮問
・平成22年８月に町立小・中学校教育環境づくり検討委員会から、町教育委員会に対し答申
・平成22年９月に町教育委員会から町へ基本方針・実施計画(案)提言
・平成22年11月に町から町議会教育民生委員会へ基本方針・実施計画(案)提示し承認される
・平成22年12月に町から町議会全員協議会へ基本方針・実施計画(案)提示し承認される
・平成23年２月に小・中学校教適正配置基本方針・実施計画を策定

※１　１年をかけて検討委員会の開催・アンケート実施・案の策定とスピーディな運びとなっており、経費の縮減や地域の思いもあるが、子供目線での環境整備の急務を主眼とした検討であり実施計画であった。

※２　５年前に１校を対象として統合を計画したが、計画が旧町村を超えた範囲となり、旧町村意識の反対に合い断念した経緯があるが、地域エゴに屈せず将来の地域を担う子供たちの教育を最優先させ速やかな推進であった。

※３　統合による通学距離・時間の問題はスクールバスの運行にて解決している。

※４　検討委員会は教育委員会が委嘱。

構成は学識経験を有するもの３名（前教育委員長・退職校長・元課長）小中学校の教職員１名幼・小・中学校の保護者６名町議会議員２名地域関係者１名公募町民　０（公募したが応募０）計13名

産業建設常任委員会

11月16日から18日まで、次のとおり所管に関わる調査を行いました。

（１）草津温泉活性化の取り組みについて
（群馬県草津町）
（２）八ツ場ダム工事の現状について
（群馬県長野原町市）
（３）伊香保温泉再生事業の取り組みについて
（群馬県渋川市）

大事なのは「おもてなしの心」

草津町は町民の約９割が観光産業に従事し、観光産業で成り立っています。「日本の温泉100選で草津温泉は８年連続１位」、「もう一度行ってみたい温泉地ランキング３位」と評価が高い。年間280万人の観光客が訪れるが、その６割がリピーターということに驚きました。豊富な湯量、町内に湧き出る源泉は大小100カ所で、18カ所の公衆浴場があります。

温泉のボーリング禁止条例があり、温泉権は町が管理しています。草津温泉は「自然湧出泉として湯量日本一」「源泉かけ流しの天然温泉」「強力な殺菌力を誇る温泉」と泉質を売りとしています。「雫石町の一番の売りは何か。それをもっとアピールすることが課題」と草津町からアドバスを受けました。東日本大震災でお客様が激減し、町民一人ひとりの意識が変わり「おもてなしの心」がさらに向上されたとのことです。

必要性を再検証

八ツ場ダムは、ダム本体工事を残して住民移転が進み、小中学校や駅など新しい場所での生活がすでに始まっていて、工事の再開もやむを得ないと思われました。利根川の上流に建設され、ダムの調整容量6500万m^3は、御所ダムの6500万m^3と同じ規模であり、首都圏の洪水被害を軽減するなど、100年に一度の災害に備える必要も考えなければなりません。しかしながら、すべてがダムの下になる住民の協力なしではできなかったことを忘れてはいけないと思います。

情緒ある温泉街の再生

渋川市は、日本のほぼ中央に位置することから「日本のへそ」をキャッチフレーズにしています。

伊香保温泉再生事業は、温泉の顔である石段街をふれあいと情緒ある温泉街の賑わいの場に再生し、在住者と来訪者に優しい、自然と温泉情緒が調和した温泉保養地の創造を目指すもので、

１．人的交流の活性化と観光拠点の整備
２．石段街の景観形成による街全体が観光資源となる環境整備
３．安心して住み、滞在できる環境整備

を平成21年から平成25年を計画期間として取り組んでいます。

今回の研修では有名な温泉地を視察しましたが、雫石も知名度では及ばないものの、素晴らしい景観、自然豊かでおいしい水や空気、温かい人柄など、決して劣ることのない資源を持っていることを再認識しました。

伊香保温泉のシンボルである石段

クローズアップ

改選後の新議員をシリーズで紹介します。議席番号１、２、19、20番の４名が議員としての抱負などを語ります。

初孫、百子と

ありがとう

田屋舘　愛子 議員（52歳、安庭行政区）

3.11を経験し、物の豊かさに喝を入れられた気がした。

私は心の豊かさを忘れていた。

雫石のおいしい空気・水・自然の豊かさを改めて実感した。

あたりまえなことは何もない。

世の中のすべてに『ありがとう』を言いたい。

雫中野球部と（後列右端）

地に足をつけて

幅　秀哉 議員（55歳　林崎行政区）

あれもこれもと思いばかりが先走り、じっくり物事を見据える事が不足しているので、今後は足を地面にどっしり着けて生きてゆかねば！

スポーツで元気を！小中高を問わず頑張れる若者を育てたい。

境港市の水木しげるロードで家族での１コマ

分権時代に

石亀　貢 議員（64歳　林行政区）

自治体は、地域の公共課題に最も近い町民の政府と言われ、その役割はますます重要になっている。

二元代表制の機能と共に、議員のあるべき姿、役割について議論、改革し、分権時代にふさわしい議会を目指し努力していきます。

１歳になる孫の玄眞（はるま）君と

大胆かつ果敢に

猿子　恵久 議員（54歳　八区行政区）

議長職を拝命して、早いもので半年近くたちましたが、諸行事を何とかこなしてきました。厳しい町財政の中でも町の発展のため、大胆かつ果敢に情熱と活力をもって、議会活動をしていく所存であります。町民の皆様のご理解とご支援を今後ともお願い申し上げます。

声 議会へのひとこと ――皆さんの声を聞きました

三上（みかみ）　成子（せいこ）さん
（52歳・安栖行政区）

気になること、ひとこと

今年気になる議題はやはり農業問題でしょうか。うちは農家ではないのですが、雫石は農業に元気がないと景気が悪いような気がするからです。

TPP問題は深刻だと思います。だから何が来ても負けない強い農業を目指して対策を考えていただきたいと思います。大規模農業を目指す人もいるはずです。新たに始めたい人も。

減反等で荒れた農地を見るたび、どうにかならないものかと考えさせられます。少子高齢化も手伝っているのでしょう、後継者不足も課題ですよね。

少子高齢化といえば、小学校の再編を考えているとか。慎重にお願いします。また、もし校舎として使われなくなったら、建物は有効利用していただきたいと思います。

ところで、滝沢村が市になるとか。雫石はどうするのでしょう。

桜田（さくらだ）　文昭（ふみあき）さん
（38歳・葛根田行政区）

特産物を作ろう

私は、西山にある農家の長男として生まれ、18歳から進学のため北海道へ、そして就職のため東京へ行きました。町を10年以上離れていました。

町を離れたからこそ、わかることもたくさんあります。東京での仕事に区切りをつけて、雫石に戻って改めて県内や全国を見て回りました。特に仕事柄、各地域の地形や気候、そして人々の暮らしに興味がありましたので、注意深く見て回りました。

外で暮らしたためか、以前より雫石が大好きです。地域の素晴らしさをぜひ大切にしていきたいと思います。次のことに注目しています。

・雫石の気候や風土から生まれた地域ならではの衣食住の文化を未来へ伝える
・子ども世代、若夫婦世代が高齢者世代と交流する時間を大切にし、未来に必要なヒントを見つける
・多世代が一緒に暮らし、家族への感謝の心を大切にする
・おもてなしの心を大切に外部と交流する
・子育てするなら雫石だよね、と全国の人が注目する地域になる

震災を乗り越え、人と自然が共存し「つながり」から「感動」が生まれる地域に成長していきたいですね。議会も一緒にがんばってください。

上野（うわの）　眞（まこと）さん
（66歳・中町三行政区）

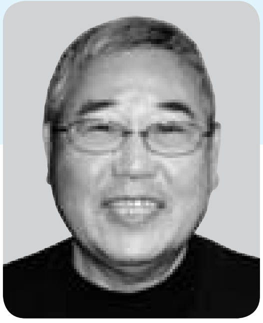
豊かな自然と環境

岩手山、駒ヶ岳など素晴らしい山々に囲まれ、自然環境にも恵まれている雫石に生まれ60数年、趣味と健康のため県内外の山を清掃活動も兼ねながら山歩きをしています。

十数年前に「箱ヶ森より東根山を県立自然公園に」という話があり参加させていただき、西側の雫石町側の登山道、林道の清掃活動を実施していますが、特に矢櫃ダム入口より南昌山５合目までを毎年４月下旬に町内有志と議員の方々の協力により実施しています。最初の頃は不法投棄の廃棄物、空き缶等大量のごみで大変驚かされましたが、これからも清掃活動を続けていきたいと思っています。雫石の美しい自然と里山を守るために･･･。

ふるさとを離れて50余年、男助山に感謝

ふるさとへの便り―46



在京雫石町友会 会員 村田一明（むらた かずあき）さん

私の実家は大村地区で屋号は長六です。昭和36年１月、何を思ったか農家の長男として生まれ育った21歳の私は「よし東京に行こう」と勝手に決め、知り合いの誰にも見つからないよう、ひっそりと雫石駅を後にしました。

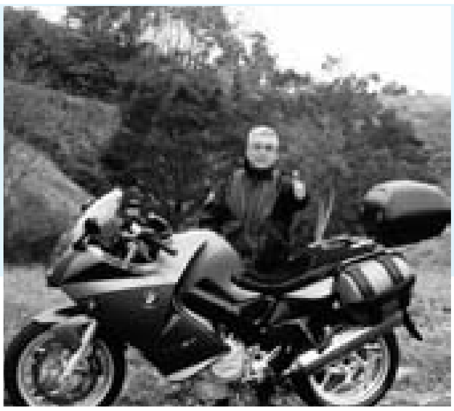
盛岡駅で2000円の所持金から1000円也で上野までのキップを買い、後先考えずに夜行列車に乗り、10数時間揺られて憧れの都、華の東京に着きました。何とか山手線に乗り換え高田馬場で下車し、何度も何度も人に聞きながら友人の働いている運送店へたどりつき、それが「ようやっと東京にきたんだ～」と実感した瞬間であり、東京での人生のスタートでした。

あれから50数年、寂しさと厳しさに持ち前の忍耐力で耐え、夢中で働き（昭和39年結婚）頑張ってきました。その間に世の中は大きく変わりました。当時の農業は牛や馬で田畑を耕し、わら入りの敷き布団で寝て、それが普通の生活でした。農繁期のこびり、盆踊り、秋祭りなど懐かしいことばかりです。中学校は大村分校でした。何か行事があるときは安庭の本校まで10 kmも歩きました。寒い雪道では帽子のつばにつららができたり、眉毛が爺さんみたいに真っ白くなり…辛かったけど忘れられない思い出です。

私にとっての故郷の宝物は男助山です。帰郷するたび「よう帰ったか元気そうだな」と迎えてくれます。子どものころ、親父が男助山を見て「今日はシャップかぶってるがら雨だな。はずまぎすてるがら晴れるべ」と言っていたことを思い出します。ふるさとには96才の母親が健在であり、年に１～２度帰省しておりますが、私を育ててくれた雫石に何の恩返しもできず心苦しいばかりです。それでも優しく迎えてくれる大好きなふるさと雫石、本当にありがとう。

この先何度帰郷できるかわかりませんが、四季の彩りと共にふるさとのありがたさを忘れずに頑張りたいと思っております。ふるさと雫石町の益々の発展を祈念しております。

昭和 39 年岩手公園にて



愛車の前で

村田一明さんプロフィール
昭和14年生まれ。大村小学校―御所中学校大村分校―平山運送（株）―自営（運送業）―福徳紙業（株）―ミルキーウエイ保育園。平成元年から趣味で「東京レッドイーグル」というツーリングクラブを設立し代表として活躍中。

雫石町へようこそ

お嫁さん　お婿さん

ご縁があり、町外から迎えられた
「お嫁さん」や「お婿さん」が登場します。

夫の秀之さん、長女の由樹ちゃん、
次女の楓ちゃん、長男の澪央くんと

高橋（たかはし）　千明（ちはる）さん（36歳　北海道新ひだか町(旧静内町)出身）
（旧姓：北條、安庭行政区在住）

Q-お二人の馴れ初めは？
-函館市の学生時代に、友人の紹介で出会い、５年の交際を経て23歳の時結婚しました。主人が実家を継ぐことになり、７年前に雫石町に来ました。

Q-雫石町で暮らしてみていかがですか？
-私は、牧場と海に囲まれ雪が少ない競走馬の産地、新ひだか町で育ちました。雫石町に来た時は、夏は虫が多く、冬は雪が多く、とても戸惑いましたが、家の前からは四季折々の御所湖を一望でき、今では雫石の生活にも慣れ、雫石の人の優しさや自然の豊かさに触れながら子ども達の成長を楽しみながら暮らしています。

Q-町に望むことは？
-子育てをしながら仕事がしやすい環境の町になるようお願いします。

議会を傍聴しませんか

次回の定例会は
３月上旬に
開会予定です

～傍聴に予約は不要です。
お気軽にお越しください。～
議会事務局　☎692-6596

議会の話題を紹介します

＊＊チャリティショーに参加しました＊＊

毎年年末に開催される歳末たすけあいチャリティーショーに、今年も参加しました。

今回は12月４日に開催され、雫石中学校応援団の協力を得て、議員全員で大根踊りを披露しました。中学生と議員という世代を超えた共演に、会場から暖かいご声援をいただきました。

情報公開

●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】
議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳（10月～12月）】

月	葬祭費		お祝い、会費	
10	0件	－円	1件	5,000円
11	1件	20,000円	4件	21,000円
12	1件	20,000円	7件	29,000円
小計	2件	40,000円	14件	55,000円
平成23年累計	2件	40,000円	32件	124,000円

■ 編集デスク

現在、当町議会では、議会改革特別委員会を設置し、さまざまな改革項目について調査・検討を進めています。また、検討を終了したもので、直ちに取り組めるものは実施していくこととしています。

この議会改革の動きについては、毎号特集でお知らせしているところです。今号では、この議会改革の一環として、各議案に対する議員の賛否結果を掲載（公表）しています。

町民の皆様に議会活動をより理解していただくために、すべての情報を分かりやすく掲載するよう努めていきますので、ご一読いただければ幸いです。

（編集副委員長　杉澤　敏明）

●**今号の表紙**／本誌の表紙は、「まちの笑顔」シリーズでお届けいたしております。笑顔が絶えないまちの元気な子どもたちの様子を紹介。今回は、橋場夢太鼓を演奏する「橋場小学校」の全児童です。

しずくいし議会だより●平成24年（2012年）1月26日　第80号　発行／雫石町議会
〒020-0595　岩手県岩手郡雫石町千刈田5番地1
☎019-692-2111　FAX019-692-2828　ホームページ：http://www.town.shizukuishi.iwate.jp/